



世田谷区立砧小学校 6年生 計63名

(財) 国際青少年育成振興財団 結城友絵

タイムテーブル

- 10:45~11:00 全体会 (留学生の挨拶・自己紹介 他)
- 11:00~12:00 グループ学習
- 12:00~12:15 全体会 (児童からの感想・お礼の言葉)
- 12:15~13:00 給食交流

10:45~11:00 全体会
算数ルームにて全体会

6年生63名と留学生全員による全体挨拶。
留学生は名前と出身国の紹介をし、児童の中から代表で6名が挨拶を行い事前学習した中で今日質問したいことを発表した。



11:00~12:00 グループ学習
各教室に分かれグループ学習

6教室に分かれ、児童8~12人程度1グループになり、初めは留学生から自国の説明があった。その後児童が事前学習したことから生まれた質問及び留学生からの説明で疑問に思ったことなどを質問した。



※ グループ学習で留学生が教えていた内容・質問されていた内容について（一例）

バングラデッシュ：バングラデッシュにはカレーの種類が100種類近くあること

お米は11種類あること。留学生が持参してきた数種類の米を貰い
ノートに貼り付けていました

よく食べるものは肉と米を混ぜたビリヤニという食べ物であること

韓国

：児童から「韓国は勉強大国と聞きますが、どのくらい勉強するのです
か」と質問があった。留学生の回答の中で印象に残った内容として

「11月にあるセンター試験の日は、飛行機は飛ばず、通勤時間もいつ
もより遅くします。」という内容です。ともに試験の妨げを阻止する為
だそうです。留学生自身も「一生に一度ですから」と言っていた為、

日本とは少々受験に対する感覚が違うように感じました。

イラン : イランには電車は少なく、移動手段として飛行機が多用されること
また車が多いということ。石油の価格も日本の 20 分の 1 程度で、車の
保有台数も 1 人が 2・3 台持っていること
現在の日本の星座の区切りはイランの暦を基準に決められていること
イランでは西暦は使わず、イスラム暦を使用していること
(2007 年 10 月 10 日=1386 年 7 月 22 日になるそうです)

12 : 00~12 : 15

全体会

児童からのお礼・感想

12 : 15~13 : 00

給食交流

留学生は 3 人ずつに分かれ、児童たちとともに給食を食べた。児童達も留学生が隣の席に座っているということもあり、食べながらも様々な質問をしていた。



担当者所感

財団法人 国際青少年育成振興財団
事務局 結城

今回の国際理解教室で印象に残ったこととは、保護者の方がボランティアで数名参加し、国際理解教室をサポートしていたことです。以前行った他の国際理解教室では調理を親達が行ったことはあったが、今回は 1 教室に最低 1 名つき留学生と児童の円滑なコミュニケーションを図るサポートをしていたことです。随分昔になりますが、自分が小学校に通っていた時にはこのような授業は全くなく、また親が来て一緒に学校で何かやるなどということはなく、時代とともに様々でことが変わってきているのだと改めて思いました。少しでも児童と保護者と教員が一緒にいる時間が増えたら、小学校からもっと明るい楽しいニュースが増えてくれるのでは、と期待しています。

もう 1 点、気になることは 6 年生ということもありますが、児童が留学生から話を聞いていながらずっとノートに書き続けていてまるで勉強しているように見えました。

留学生の人にあう機会など滅多にないはずなのに、必死にノートを書いているのを見てればいいのに、と思ってしまいました。きっと興味深いことが多く、一生懸命メモしたかったと思われます。ドラマのような台詞ですが、「記録より記憶に残るものを」といった言葉を思い出しました。

雑談ですが、モンゴル語は日本語と文法構造が同じらしく、モンゴルからの留学生の人は他の国の人より早く日本語が上達するそうです。自分もこのような機会がなければ知らないまま過ごしていたに違いありません。最後に留学生の人が児童へのメッセージに「他文化から見える自文化」というメッセージは印象に残りました。